



多治見市



新しい多治見の顔

多治見市長 古川 雅典

社団法人岐阜県都市整備協会設立50周年おめでとうございます。

本市では、笠原町神戸・栄土地区画整理事業を実施しており、社団法人岐阜県都市整備協会の皆様方には平成16年の組合設立から現在まで多大なるご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。



JR多治見駅

さて、本市においては、日帰り観光に訪れる方たちをお迎えする新たな多治見の「顔」となる“多治見橋上駅舎と自由通路多治見駅南北連絡線及び駅南駅前広場”を平成22年11月に全面完成させました。

駅のバリアフリー対策としては、エレベーター、エスカレーター、触知案内板・手摺、そして男女別に多機能トイレを設置するなど、利便性の向上を図りました。

また、平成19年8月16日に、40.9度の国内最高気温を埼玉県熊谷市と同時に記録しましたが、これを契機に高気温対策にもチカラを入れることとし、自由通路の屋上に30kWhの太陽光発電装置を、駅前広場にはドライ型ミスト、「うながっぱ温度計」（多治見ライオンズクラブ・同ライオネスクラブから寄贈）を設置しました。さらに、駅前広場には市政70周年を記念して樹齢70年のシダレザクラの植栽をするなど周辺とあわせて緑化の充実を図りました。

地場産業という観点では、本市は、陶磁器・タイルの一大産地であることから、改札口正面には、10m×4mの巨大な陶壁を設置するとともに、通路壁面に展示ケースを6ヶ所設け著名な陶芸作家の作品を、駅南広場には陶磁器オブジェを展示し、来訪者や駅利用者に陶磁器のまちをアピールしています。



うながっぱ温度計

本市は、めざすまちの将来像を「もっと、人が元気！まちが元気！多治見」をキーワードに、地場産業の活性化、日帰り観光の促進のほか、人「財」育成、企業誘致、環境にやさしく安心・安全なまちづくりなどにも積極的に取り組むなど、活気溢れるまちづくりを展開しています。

生まれ変わりつつある多治見へぜひともご来訪ください。厚いおもてなしでお迎えさせていただきます。